

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果
今回、日本学生女子ハーフマラソン選手権大会に向け、鹿児島県奄美大島での強化合宿の企画・運営・コーチングを行なった。
合宿場所や期間の設定、航空券や宿舎の手配など初めて行うことばかりで企画・運営の中で大変だったことは二点ある。
一点目は合宿先の方や旅行会社などの外部の方々とのやり取りである。合宿前の期間においては、日程の変更や細かな調整等のやり取りがあり、合宿中においても、選手の体調や怪我の状態、天候変化などによるスケジュールの変更や調整による連絡や相談など頻繁に行なっていた。わかっていたつもりでも、想像以上に細かい作業であった。
二点目は、練習途中で足の痛みによって中断を余儀なくされる選手が出るなどの急な出来事への判断・対応である。多くのタスクを同時にこなす事ができず慌てることもあった。しかし、選手とのコミュニケーションや、監督や合宿先の方との相談によって情報や選択肢が増え、対応する事ができた。また、合宿に来ていた知り合いに情報をもらう事ができ、陸上競技によるネットワークが助けになった。
コーチングにおいては、目的が日本学生女子ハーフマラソン選手権大会に向けての合宿と具体的であったため、練習中やそれ以外の生活においても試合をイメージできるような声かけや合宿の目的を再確認できるようなアドバイスを行うことができた。しかし、イメージと現実において差がなく順調にトレーニングを積むことができていることの方が珍しく、その差をどう埋めていくのかなどの軌道修正に対する声かけを自信を持って行うことができなかった。選手に対して寄り添うときや発破を掛けるときの判断やどんな言葉遣いや表現で伝えることが最善なのかが手探り状態だった。
(2) 今後の課題
今回の活動の企画・運営において、「知識があること」と「経験があること」は全く異なることであることを強く感じた。これからコーチング現場における様々な経験を積むことで身につけていくものであると感じる。
コーチングにおいても、まだまだ言葉や知識の引き出しが少ないことを痛感した。これから自分自身で学び、経験を通し引き出しを増やしていきたいと感じた。
また、陸上競技を通して知り合った方々とのネットワークによって情報を得ることができた。自分一人の力では微力だが、さまざまな方々の力を借りることによってより充実した活動にすることができる。女性指導者として、様々な分野のネットワークを広げることに尽力したい。
最後になりましたが、本事業のお力添えを賜り、このような貴重な機会を頂いたことに御礼申し上げます。

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) 交通費	¥245,900	往復航空券(羽田・奄美大島)代 @¥49,180 x 5名
(2) 宿泊費	¥99,000	3食込宿泊代 @¥8,250 x 2名 x 6泊
(3) 費		
(4) 費		
(5) その他		
合計	¥344,900	

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。